日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）		科目名	舞台実習Ⅱ	
開設学科	声優・演劇科		コース名	声優コース 俳優・タレントコース		開設期	後期
対象年次	2年次		科目区分	選択		時間数	70時間
単位数	2単位		授業形態	実習			
教科書/教材	演劇戯曲の台本を中心に使用、必要に応じて配布。ミュージカル戯曲の場合は楽譜を必要に応じて配布。						
担当教員情報							
担当教員	竹本敏彰・千葉繁・室生春			実務経験の有無・職種	有・声優 俳優 演出家		
学習目的							
この科目を受講する学生は、舞台実習Ⅰ舞台実習Ⅲを踏まえ、引き続き舞台公演を行う目的で俳優表現の多様性を学ぶ。演劇舞台空間で与えられた登場人物を表現することで、生き生きと自然に生き抜く喜びを体感できるようになる。同時に集団で芸術作品を創りあげる喜びと難しさを実感し、コミュニケーションする力、協調性の重要性を理解することがねらいである。							
到達目標							
学生が舞台空間で生き抜くことの難しさを実感し、実践することで俳優業を理解することが目標である。役者として活動を続けるために必要な努力を模索し、更に、発声力、歌唱力、身体表現力をより発展させ、よりクオリティの高いものを目指しながら、今後の進路、役者としての仕事を深く考察できる力を養うことも目標に加える。							
教育方法等							
授業概要	舞台空間を設定、もしくは戯曲の世界観を個人やグループで演劇戯曲を立体化する。都度、発声力、歌唱力をチェックしながら、作品理解、人物理解が学生ひとりひとりに成されているか確認し戯曲を完成させていく。舞台実習Ⅳと連動し（声優コースは声優演技）、観客に見せるための舞台を2年間の集大成として「卒業制作」に繋げ、演劇作品もしくはミュージカルを創り上げていく。						
注意点	学生の心身が健全、健康であることを何より優先する。学生とのコミュニケーションを重視し、明るく、清しい授業空間を創ることが肝要である。また、快活で積極的な授業参加を求めるため理由のない遅刻や欠席は認めない。態度が改善されない場合、配役の変更や降板も辞さないこととする。授業時数の4分の3を出席しないものは定期試験を受けることができない。						
評価方法	種別	割合	備考				
	試験・成果発表	60%	授業内の確認発表で中で総合的に評価する				
	平常点	40%	俳優は日常の鍛錬が重要であり、理解度を含め、授業への積極的な参加を評価する				
授業計画（1回～10回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	成果発表用台本の基礎稽古（1）			戯曲を分解、役柄を理解する			
2回	成果発表用台本の基礎稽古（2）			登場人物のバックボーンを探る			
3回	成果発表用台本の基礎稽古（3）			個人個人が各々の役を考察、理解を深める			
4回	成果発表用台本の基礎稽古（4）			音楽を意識し、ステージングを考える			
5回	成果発表用台本の基礎稽古（5）			ミザンスの考察をし、より良い演技表現を見出す			
6回	成果発表用台本の応用稽古（1）			それぞれのシーンの理解を踏まえ創り上げて行く			
7回	成果発表用台本の応用稽古（2）			それぞれのシーンの理解を踏まえ創り上げて行く			
8回	成果発表用台本の応用稽古（3）			それぞれのシーンの理解を踏まえ創り上げて行く			
9回	成果発表用台本の応用稽古（4）			それぞれのシーンの理解を踏まえ創り上げて行く			
10回	成果発表用台本の応用稽古（5）			それぞれのシーンの理解を踏まえ創り上げて行く			